

平成5年3月31日

# リサイクル都市構築に向けて

## 豊島区リサイクル推進会議が区長へ提言

31日、地球環境問題の深刻化が一段と進む中、豊島区リサイクル推進会議(会長 丸尾直美 慶応義塾大学教授)は、加藤一敏豊島区長に対し、『リサイクル都市構築に向けて』と題した最終提言を提出した。

丸尾会長をはじめとする学識経験者や区民代表ら合計22名の委員で構成される同会議は、平成3年6月の発足以来、検討を重ね、昨年3月には、資源循環型社会へ向けての基本的な考え方をまとめた中間提言を提出している。

今回の最終提言では、豊島区が推進すべきリサイクルの理念を、資源の循環、緑の保全と拡充、エネルギーの有効利用などが適切に機能・調和して形成される『地球環境にやさしい都市』づくりとした上で、リサイクル都市を形成する主体である区民・事業者・行政が、自らの役割を認識し、必要な負担と責任を果たさなければならないとして、それぞれの行動目標及び具体的行動を提唱している。

詳細 リサイクル推進課長